

令和4年度後期選定 後代検定種雄牛

後代検定種雄牛「夢福久」は、産肉能力を調査するため、(一社)家畜改良事業団により、現場後代検定調査牛を生産する調整交配が実施されます。この現場後代検定において優秀な成績を収め選抜されると、全国の畜産農家へ凍結精液が供給されます。



ゆめ ふく ひさ

夢福久

登録番号 2021子受卵鳥黒7510

生年月日 令和3年9月8日

個体識別番号 13932-6581-6

福久増 { 福増 — 安平吉
 { まつみやひさ — 安福久

ゆめふく2 { 安福久 — 安福165の9
 { ゆめ — 忠富士

「夢福久」は、「福久増」を父にもつ初めての候補種雄牛として造成されました。父「福久増」は、当場で生産された兵庫系種雄牛で、平成30年度前期現場後代検定成績においては、今後の肉用牛改良で重視される歩留基準値が75.8%と優秀な成績を収め、(一社)家畜改良事業団のゲノミック育種価においても歴代1位(2022年2月現在)を記録しています。母「ゆめふく2」は、安福久の娘牛であり、BMSNo.の育種価が非常に高く、家畜改良センターの繁殖雌牛のなかでも上位に位置しています。このような血統的背景をもつ本牛は、ロース芯面積、歩留基準値、BMSNo.のゲノミック育種価が非常に高いことから、高い産肉能力が期待できる兵庫系の後代検定種雄牛です。